

第4章 基本指針を具現化する施策

1 基本指針

基本指針 1 市民活動への参画促進

市と市民活動支援施設が連携して、市民活動への参画のきっかけづくりをはじめ、新たな気づきと活力を創出するサポートや楽しく暮らしやすいまちづくりに向けた柔軟な仕組みづくりを進めます。

【基本施策】

1-① 市民活動を促す地域診断（コミュニティカルテ）の活用と地域共有

13地区ごとの人口動向や地域資源などをまとめたカルテに基づき、現在の暮らしの困りごとや将来に向けて表出が予測される地域課題の解決に向けた処方箋となるようワークショップを実施、活用しながら推進します。

1-② 市民活動に関する体験型・対話型事業の推進

市民活動への参画に向けた取組として、市民活動に対する新たな気づきにつながるよう、地域課題の解決を踏まえた事業の展開を進めます。

基本指針 2 市民活動を支援する体制の充実強化

暮らしや多様性を尊重する視点にたって、地域課題の解決に向けた活動が市域全域で持続的・発展的に取り組まれるよう、市民活動団体の事業戦略など、運営や活動をサポートする体制の充実強化を進めます。

【基本施策】

2-① 活動資金や運営支援の充実

市民活動支援施設を始め、大学・金融機関などの専門性を有する団体の協力により、市民活動団体の運営や事業戦略のサポート強化を図ります。また、NPO 運営相談サポートテラスを活用した融資や民間企業等で実施している助成金の獲得に向けたアドバイスなど、活動資金の多様化を進めます。

2-② 市民活動を行う場所の確保

地域課題の解決に向けた活動が持続的・発展的に取り組めるよう、地域コミュニティ拠点施設のあり方方針や住宅マスタープランに基づき、地域市民の家や空き家など既存資源の活用を前提にした活動場所の確保を推進します。

基本指針 3 多様な市民活動の創出

暮らしの豊かさをめざすため、地域社会の活力を高める多彩な取組が生まれ、市民活動団体相互の協力、連携や学校、企業、NPO、市などが交流できるよう多様な市民活動の創出を進めます。

【基本施策】

3-① 自治会や地域団体の担い手不足などの解消に向けた取組の推進

ライフスタイルの多様化などにより自治会をはじめとする地域団体が直面している担い手不足の解消に向け、団体の成り立ちなどを踏まえつつ、地域資源や人材のマッチングなど再構築に向けた支援を推進します。

3-② 多様な主体による英知や経験の好循環を生む協働の推進

暮らしの課題解決と暮らしやすさの向上をめざし、組織を超えた横断的な連携をはじめ、継続的なまちづくりや地域に根差した市民活動となるよう市と市民活動支援施設などがコーディネートを行い、多様な主体が相互につながる協働を推進します。

3-③ オリンピック・パラリンピックを契機とした共生社会の実現

地域、市民、市民活動団体、行政など様々な主体が、オリンピック・パラリンピックの開催を通して生まれた関係性や活動に対する想いの変化を共有し、継続した活動により、多様性を尊重する共生社会をめざします。

市民活動推進ビジョン

市民活動が息づくまち

誰もが個性の輝きを放つ未来へ

基本指針1 市民活動への参画

- ①市民活動を促す地域診断（コミュニティカルテ）の活用と地域共有
- ②市民活動に関する体験型・対話型事業の推進

基本指針2 市民活動を支援する体制の充実強化

- ①活動資金や運営支援の充実
- ②市民活動を行う場所の確保

基本指針3 多様な市民活動の創出

- ①自治会や地域団体の担い手不足などの解消に向けた取組の推進
- ②多様な主体による英知や経験の好循環を生む協働の推進
- ③オリンピック・パラリンピックを契機とした共生社会の実現

ふじさわの未来に向けて

私たちは、少子超高齢化・人口減少時代にあって、多様性を尊重し、暮らしやすさを支えあう地域社会をどのようにすれば構築できるのでしょうか？

現代社会は、成長と発展を前提としたまちづくりから、成熟と縮充へ向かう過渡期にあります。このような社会の変化に対応していく市民活動は、多様性を尊重する視点にたって、地域資源や文化、地域の成り立ちを大切にしながら、本来の市民活動が目指している「生活の豊かさの実現」という目標を皆さんとともに改めて共有し、新しい発想や考え方による取組として、持続可能な地域社会を形成していく重要な主体です。

一人ひとりの市民が、目的にかかわらず市民活動そのものを行うことに価値があることを基本とし、市民活動団体が持続可能な地域社会の担い手として、それぞれの個性を活かした取組を進めていくことで、藤沢で安心して生活し、学び、働き、また、老いていくことにつながり、暮らしやコミュニティが充実するという好循環を作り出していくことができると私たちは考えます。

様々な世代の多様なまちづくり活動が、持続可能な藤沢の未来につながることを願っています。

第9期 藤沢市市民活動推進委員会

